



①消火活動体験 ②整備士体験 ③重機操縦体験

県民の日海匝地域行事

さんさん☀フェスタ2017

6月10日、旭文化の杜公園で「さんさん☀フェスタ2017」が行われました。このイベントは海匝地域の産業や仕事を、展示や体験を通じて知ってもらうことで、将来にわたる地元への定着や回帰を促すことを目的に開催されています。この日子どもたちは、いろいろな職業の制服を着たり、ショベルカーなどの働く車を操縦したりするなど、さまざまな職業を体験していました。

よい歯のコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール

自慢のよい歯で「歯っぴーライフ」

歯や口に関する知識を広め関心を持ってもらおうと、よい歯のコンクールなどが6月8日、飯岡保健センターで開催されました。入賞は次のとおり(敬称略)。

【よい歯のコンクール】

8020の部／最優秀賞：宮内みさ子(イ) 優秀賞：加藤豊年(新町)、高木洋雄(関戸)、高木かつ子(関戸) 親と子の部／最優秀賞：田向みづき・つぐみ(平松)

【歯・口の健康啓発標語コンクール】

小学生の部／最優秀賞：「はみがきで 人生楽しく かみしめる」庄村汐夏(富浦小6年) 中学生の部／最優秀賞「歯みがきで 幸せおいしさ かみしめて」渡邊美希(二中2年)



最優秀賞を受賞した田向親子(前列左・中)、宮内さん(前列右)

6月14日 仲間と競い合う
グラウンドゴルフ大会

旭スポーツの森公園の芝生広場で「第48回旭市グラウンドゴルフ大会」が開催。市内の各地域から109人が参加し、スコアを競い合いました。選手は雨上がりのホールに苦戦しながらも、好スコアを目指してクラブを振っていました。優勝は塙彦太郎さん(鎌数)でした。



ホールインワンを狙って打つ参加者

6月11日 子どもからお年寄りまで
スポーツで交流



レシーブでボールをつなぐ選手

旭スポーツの森公園で「市民スポーツのつどい」が開催。競技は小学生31チームによるミニバレーと、小学生とお年寄りの混合など72チームによるグラウンドゴルフが行われ、371人の選手が参加しました。ミニバレーでは声を掛け合いながら、ボールをつなごうとする選手たちの姿がありました。

6月8～10日 学校に通いながら
2泊3日の共同生活

子どもたちが「自分のことは自分でする」ことを体験する通学合宿が、海上保健センターで開催されました。ボランティアの人たちの協力を得ながら食事を作ったり、地域の家庭から「もらい湯」を受けたり、自分で布団を敷いたり、慣れない手つきでも互いに協力しながら活動していました。



就寝の準備をする子どもたち



旭市のさまざまな情報を
Facebookで公開しています
旭市 フェイスブック

検索



あさひ 見聞録

けん

ぶん

らく

旭市消防操法大会

消防団員が練習の成果を披露

消防操法大会が6月4日、旭文化の杜公園で開催され、練習を積んだ消防団員が消火技術を競い合いました。主な結果は次のとおり(敬称略)。

【団体】

ポンプ車の部 / 1位: 第1中隊第2分団第1部

2位: 第2中隊第4分団第2部

小型ポンプの部 / 1位: 第2中隊第6分団第3部

2位: 第1中隊第3分団第3部

※旭市代表として海匠支部消防操法大会に出場。

【個人】

ポンプ車の部 / 最優秀指揮者: 加瀬諒一(第3中隊第1分団第3部)

最優秀1番員: 来栖真吾(第2中隊第4分団第2部)

最優秀2番員: 中西祐太(第2中隊第4分団第2部)

最優秀3番員: 林敬範(第1中隊第3分団第1部)

最優秀4番員: 伊藤修一(第1中隊第2分団第1部)

小型ポンプの部 / 最優秀指揮者: 林武則(第1中隊第3分団第3部)

最優秀1番員: 大川将弥(第2中隊第6分団第3部)

最優秀2番員: 廣岡勇人(第2中隊第6分団第3部)

最優秀3番員: 石橋堅(第2中隊第6分団第3部)



- ①ホースを担いで走り出す
- ②ポンプ操作開始
- ③火点に向かって放水

5月28日 オリジナル劇で座頭市を振り返る



素人一座によるお笑い劇場

「座頭市物語文学碑建立7周年碑前祭」が東総文化会館で開催され、多くの方が詰め掛けました。映画「座頭市物語」の上映や講談、歌謡笑劇場などが行われ座頭市と延命姫物語の演劇では、随所に笑いの要素が盛り込まれ、会場からは笑い声や拍手が聞こえていました。

5月28日 地域から進めるきれいなまちづくり

ごみの散乱防止と再資源化促進の普及啓発を図り、きれいなまちづくりをするため、春のゴミゼロ運動が市内各地で行われました。この日、早朝から子ども会や老人クラブなどたくさんの市民が参加。道路脇の草むらや側溝などからゴミを拾い、自分たちの住んでいる地域の美化活動を行いました。



集めたゴミの分別作業

5月23日 銚子連絡道の整備は将来の夢の後押し



パティシエになる夢を語った小林さん

第19回銚子連絡道路整備促進地区大会が、関係者など約750人が参加する中、いいおかユートピアセンターで開催されました。一日も早い完成を図る決議が採択されたほか、県立旭農業高校の小林沙弥香さんの意見発表では、銚子連絡道の整備が「将来の夢の後押しになる」などと話しました。